

※幼児については、保護者同伴をお願いします。必ず上靴を持ってきてね!

日	時間	事業名	内容	定員
8月 6日(土) 20日(土) 27日(土)	14:00~16:00	子ども広場	<b>「将棋広場」</b> ～初めての人・少しでも興味を持った人は、気軽に参加してください～ 対 象：おおむね小学 1 年生～6 年生 ※開催日が変更になる場合があります。	なし

## 夏休み 子どもおもしろ教室

※申し込み受付は、8月1日から(9:00~17:00まで、日・祝は除く)開始します。  
**1人2教室までの申し込みとします。**  
ただし、開催日1週間前時点で定員に空きがある場合は、追加で申し込みいただけます。  
先着順のため定員になりしだい締め切ります。  
※対象は幼児(必ず保護者同伴)と小学生(難易度によっては保護者同伴)です。  
難易度(★初級 ★★中級 ★★★上級)を参考にお申し込みください。



ねんど消しゴム

開催日	時間	定員	内容(難易度は小学生を基準に想定しています)	参加費
8月 9日(火)	14:00~15:30	15人	<b>「ねんど消しゴム」★★★</b> (1年生は保護者同伴) オリジナル消しゴムを作ろう。	100円
8月10日(水)	14:00~15:30	15人	<b>「ビーズプレスレット」★★★</b> (1~2年生は保護者同伴) 2種類のかわいいプレスレットを作ります。 ※ハサミを持参してください。	無料
8月11日(木)	14:00~16:00	15人	<b>「まがたま」★★★★</b> (1~2年生は保護者同伴) 滑石を削って磨いて作品を仕上げます。根気が必要です。	100円
8月12日(金)	14:00~15:30	15人	<b>「すいすいキャラクター」★</b> ひもを引くとかけあがります。 ※ハサミを持参してください。	無料
8月23日(火)	14:00~15:30	15人	<b>「ミラーボックス」★★★</b> (1~2年生は保護者同伴) 箱の中をのぞくと不思議な世界が広がります。 ※ハサミを持参してください。	無料
8月24日(水)	14:00~15:30	15人	<b>「ステンドランプ」★★★</b> (1~2年生は保護者同伴) 8月3日と同じ内容です。8月3日に参加した方は、ご遠慮ください。	200円
8月25日(木)	14:00~15:30	15人	<b>「ビーズキーホルダー」★★★</b> (1~2年生は保護者同伴) 人形とフルーツのキーホルダーを作ります。 ※ハサミを持参してください。	無料
8月26日(金)	14:00~16:00	20人	<b>「サンドクラフト」★★★</b> (1~2年生は保護者同伴) 色のついた砂を組み合わせると立体的な作品を作ります。	250円

## サラダボール

## まことの花

先日、見事な花束をいただきました。香り豊かな大きな花やたくさんの小花・・・それぞれが個性豊かな美しい花々です。早速、花瓶に生けてたのしみました。しばらく眺めていると、「どの花が一本なくなってもこの美しさはないな」「それぞれの花が引き立てあって更に美しくなっているんだな」と感じながら日々を過ごしました。日を重ねるごとに花々の姿は変わり朽ちていきましたが、最後までそれぞれの花は凛と美しく、その時々で調和していました。

能の大成者、世阿弥の著書である『風姿花伝』。父親阿弥の遺訓に基づく能の伝書です。その中のひとつの章では、能役者の幼少から老年に至るまでの各年齢における心得が説かれてお

り、その中で現れる美しさや人々に感動を与える力が「花」に例えられています。

幼少時に好機を得て自然に咲いた一時の「時分の花」、青年期となり若さゆえ華やかに咲いた「初心の花」。(ただ、どれも芸を極めた上で咲く花ではありません。)そして、精進を重ねわが身を知ることで、時が去ってもなお咲き誇るのが「まことの花」。

父親阿弥が亡くなる直前に演じた能に対して世阿弥は、「能は、枝葉も少なく、老木になるまで、花は散らずに残りしなり。これ眼のあたり、老骨に残りし花の証なり。」と記しています。

これは、「真に自らの精進の結果、身に付けた花であるがゆえに、能は衰え、枝葉も落ち少なくなると老木となっても花は散らずに残っている。こ

れこそが、私が目のあたりにした老骨に残った「まことの花」の証である。」

芸事のみならず、この著書を人生の道標とされている方も多いのではないでしょうか。私たちの心の花も日々さまざまに姿を変え一人ひとり美しい花を咲かせていることでしょうか。しかし、それをもっとよりよい美しい花を咲かすために、私たちの暮らしの中でも花束と同じように、一人ひとりが自分を大切に、そしてあたたかな心で互いを愛し、思いやり、支えあうことで互いの花が一層良いものとなることでしょうか。

どんなにつらい時も、たのしい時も心の花を育てながら、いつの日か、私の、あなたの、そして私たちの心に「まことの花」が咲くことを信じて・・・。

(人権推進課)